

企画概要

戦国時代には全国各地に多数あった城も、慶長二十年(1615)江戸幕府の一国一城令により大きく数を減らし、その後は藩政の中心地としてその地を代表するものへと変わっていきます。本展では東海道を描いた浮世絵版画を中心にその地を代表する風物として描き込まれた城々をご紹介します。

大展示室では両会期合わせて東海道から十二、全国も含めると合計二十二の浮世絵版画に描かれた城が登場。

小展示室では静岡市所蔵の「東海道屏風」に加え、静岡が誇る徳川家康ゆかりの駿府城跡の発掘調査で見つかった関連資料も展示します。どうぞ、お城めぐりの旅をお楽しみください。



静岡市東海道広重美術館

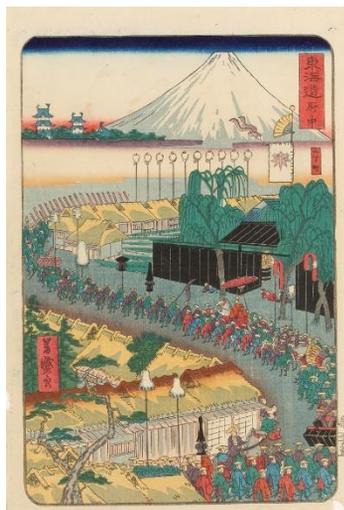
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

展覧会のみどころ (大展示室)

■ お城で旅する東海道 ■

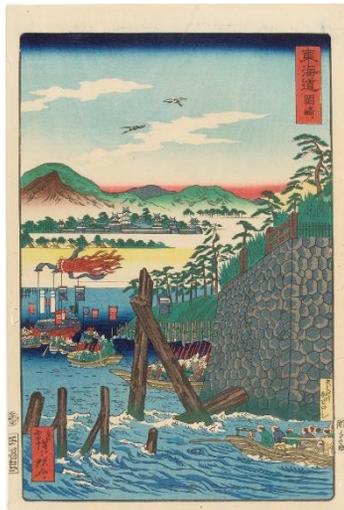
東海道などの各地の名所を描く浮世絵版画の中には、その地を代表する建造物として城が描かれる作品が多数存在します。浮世絵版画を通して江戸時代の城を巡る旅をどうぞお楽しみください。

Part1 : 11/27(火)~12/27(木)



駿府城

歌川芳盛「東海道 府中」 当館蔵



岡崎城

河鍋暁斎「東海道 岡崎」 当館蔵



大坂城

歌川芳艶「東海道名所之内 淀川」 当館蔵

Part2 : 1/5(土)~2/3(日)



江戸城

歌川広重「東海道 一 五十三次 日本橋」
当館蔵



桑名城

歌川広重「東海道 四十二 五十三次之内 桑名」
当館蔵



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM OF ART

展覧会のみどころ

① 絵図で見る東海道

六曲一双の屏風に江戸から京都までの東海道を上下二段に描いた「東海道屏風」、折帖仕立ての五分冊で日本橋から京までの旅行案内記「東海道分間絵図」。大展示室の浮世絵よりさらにさかのぼり、江戸中期に描かれた東海道とお城をお楽しみください。



「東海道屏風」 静岡市蔵
Part1展示

② 静岡が誇る名城「駿府城」

静岡市では平成28年8月から平成32年2月までの予定で、駿府城跡天守台の発掘調査を実施しています。本展では発掘調査でみつかった資料と発掘調査の様子を紹介합니다。



「慶長期鬼瓦三葉葵」 静岡市蔵
通期展示



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

展覧会関連企画

関連企画1／当館学芸員によるギャラリートーク

□日時：12月16日(日)、1月20日(日) 13:00～13:30

□参加費：無料 ※入館料別途

当日当館エントランスホールにお集まり下さい。(申込み不要・定員制限無)

美術館概要

静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）、『名所江戸百景』など、風景版画の揃物の名品を中心に約1400点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。



広重について

歌川広重（1797 - 1858） 浮世絵師

15歳頃に歌川豊広に入門。保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となり、その後も風景を描いた浮世絵を制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ62歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与え続けています。



三代歌川豊国『広重死絵』当館蔵



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

広報用画像提供のご案内

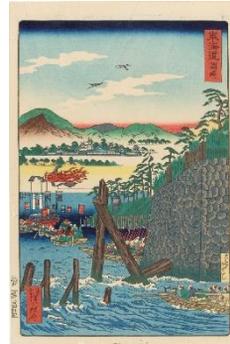
展覧会広報用として下記6点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



1



2



3



4



5



6



7

□作品名およびクレジット

1. 展覧会ポスターイメージ ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art
2. 歌川芳盛 『東海道 府中』 静岡市東海道広重美術館蔵
3. 河鍋暁斎 『東海道 岡崎』 静岡市東海道広重美術館蔵
4. 歌川芳艶 『東海道名所之内 淀川』 静岡市東海道広重美術館蔵
5. 歌川広重 『東海道 一五十三次 日本橋』 静岡市東海道広重美術館蔵
6. 歌川広重 『東海道 四十二 五十三次之内 衆名』 静岡市東海道広重美術館蔵
7. 『東海道屏風』 静岡市蔵
8. 『慶長期鬼瓦三葉葵』 静岡市蔵



8

〈使用条件〉

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただきますため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。



静岡市東海道広重美術館
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

静岡市・由比町合併10周年記念事業
『城たび！ -お城で旅する東海道-』

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

FAX.054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

- | | | |
|-----------------------------|-------------|--------------------|
| 1. <input type="checkbox"/> | 展覧会ポスターイメージ | |
| 2. <input type="checkbox"/> | 歌川芳盛 | 『東海道 府中』 |
| 3. <input type="checkbox"/> | 河鍋暁斎 | 『東海道 岡崎』 |
| 4. <input type="checkbox"/> | 歌川芳艶 | 『東海道名所之内 淀川』 |
| 5. <input type="checkbox"/> | 歌川広重 | 『東海道 一五十三次 日本橋』 |
| 6. <input type="checkbox"/> | 歌川広重 | 『東海道 四十二五十三次之内 葉名』 |
| 7. <input type="checkbox"/> | | 『東海道屏風』 |
| 8. <input type="checkbox"/> | | 『慶長期鬼瓦三葉葵』 |

貴社名：

媒体名

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間10:00～16:00

掲載予定日（コーナー名）： 月 日

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。



静岡市東海道広重美術館

SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

美術館情報



開館時間：午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）

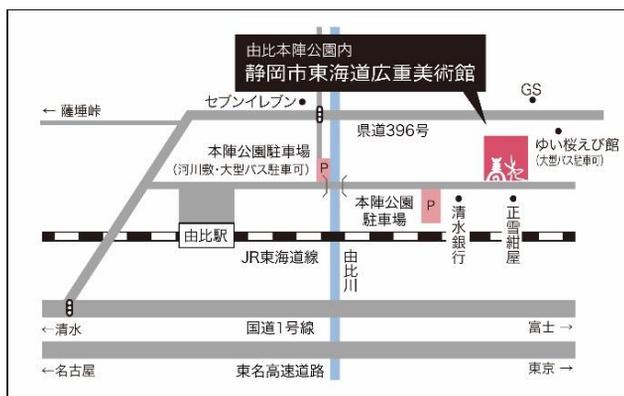
入館料：一般510円（410円）

大学生・高校生300円（240円）

中学生・小学生120円（100円）

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、
静岡市在住の70才以上の方は無料

※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料
※()は20名以上の団体料金



【交通案内】

■電車をご利用の場合

JR東海道本線「由比」駅下車後 徒歩25分、タクシー5分

■お車をご利用の場合

美術館無料駐車場21台（由比本陣公園駐車場）

□大阪・名古屋方面から

東名高速【清水I.C.】から国道1号経由約20分

□東京・横浜方面から

東名高速【富士I.C.】から国道1号経由約25分

本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

Tel 054-375-4454

Fax 054-375-5321

info@tokaido-hiroshige.jp

静岡市東海道広重美術館

〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比297-1

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp

[facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige

